

事業名	諸費			調書番号	90
細事業名	住みよい県土建設週間知事表彰等実施事業	財務コード	129001		
担当部課室	県土整備 部 県土整備総務 課 総務経理 担当 (内線)		7056		

事業の概要

実施期間	始期 S49 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 県民 その対象をどのような状態にして 「住みよい県土建設週間」を実施し、県土建設への功績に対する表彰等を行う。 結果、何に結びつけるのか 住みよい県土建設の意義と重要性の理解と協力を得る。
内容	1 知事表彰式の実施 県土建設写真コンクール入選者 2点 河川ふれあい画コンクール入選者 7名 県土愛護尽力者 1名以上 まちづくり功労者 1名以上 用地交渉等協力者 1名以上 住みよい県土建設功労者 40社 住みよい県土建設功労技術者 15名 住みよい県土建設功労者特別表彰 5社以上 2 県土建設写真コンクール(山梨県建設業協会主催) 3 その他広報活動

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	目標	1	1	1	1	1	1	1
	実績(見込)	1	1	1	1	1	1	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標	72	72	72	72	72	72	72
	実績(見込)	71	72	74	71	78	77	
	達成率	98.6	100.0	102.7	98.6	108.3	106.9	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		114	114	114	114	114	114	114

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	毎年9月第2週を「住みよい県土建設週間」として、表彰や広報活動を実施。
成果指標	b	評価	本表彰式は建設業者の目標となり、県土愛護の活動を行う者の励みとなり、まちづくり表彰受賞団体等への高い評価等成果をあげている。表彰者数については、目標に達しているが、愛護尽力者、まちづくり功労者、用地交渉協力者を表彰できていない場合がある。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(建設業の重要性の周知、県土の愛護や潤いのあるまちづくりへの貢献を育む役割がある。)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県土愛護尽力者、まちづくり功労者、用地交渉等協力者の掘り起こしを行う。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(コンクール応募者の確保について教育委員会等の協力を求める等、検討する余地がある。)
その他	説明	一部の表彰実績(県土愛護尽力者)が少ないので、これに関する情報収集の手段、コンクール応募者を確保する方法の検討が必要であるため。
見直しの必要性	有	県土愛護尽力者(5年以上にわたり、河川や道路等の清掃を続けている等)について、広く県民から情報を寄せてもらえる仕組み等を検討し、表彰者を掘り起こすとともに、安定的なコンクール応募者の確保のため、山梨県建設業協会や教育委員会に協力を求め、コンクール周知方法の多様化等を検討していく。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	県土愛護の活動の情報収集方法やコンクール周知方法等を検討、改善。
----------	----	----------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。